

Ⅶ 参考データ

1 0日・0か月児の死亡事例について（心中以外の虐待死）

平成 25 年度に把握した心中以外の虐待死事例（36 人）のうち、0 歳児の死亡人数は 16 人であり、心中以外の虐待死による死亡人数全体の約 4 割以上を占めている。その中でも、生後 24 時間に満たない死亡と考えられる日齢 0 日児の死亡事例（以下「日齢 0 日児事例」という。）と、日齢 1 日以上月齢 1 か月未満児の死亡事例（以下「月齢 0 か月児事例」という。）を合わせた 0 日・0 か月児の心中以外の虐待死事例（以下「0 日・0 か月児事例」という。）が 0 歳児の死亡事例の中でも一定の割合を占めていることを踏まえ、経年のデータとして以下に取りまとめた。

なお、平成 25 年度に把握した 0 日・0 か月児事例については、第 10 次報告と同様、全て日齢 0 日児事例であったことから、第 11 次報告単年度の結果等については、日齢 0 日児事例についてのみ言及することとしている。

(1) 0 歳児及び 0 日・0 か月児事例の発生状況

（表Ⅶ－1－1、表Ⅶ－1－2－1、表Ⅶ－1－2－2）

前述したとおり、0 歳児の心中以外の虐待死事例の死亡人数の全体における割合は、第 1 次報告以降、概ね 4 割を占めている。

また、0 歳児の死亡事例のうち 0 日・0 か月児事例が占める割合も約 4 割となっている。

表Ⅶ－1－1 0 歳児の心中以外の虐待死事例の死亡人数の推移（心中以外の虐待死）

区分	第1次	第2次	第3次	第4次	第5次	第6次	第7次	第8次	第9次	第10次	第11次	総数
人数	11	23	20	20	37	39	20	23	25	22	16	256
割合	44.0%	46.0%	35.7%	32.8%	47.4%	58.2%	40.8%	45.1%	43.1%	43.1%	44.4%	44.0%

※ 割合：各年次報告における心中以外の虐待死事例に占める 0 歳児の割合

表Ⅶ-1-2-1 0日・0か月児事例の死亡人数の推移と0歳児の心中以外の虐待死事例における割合

年次	0日	0か月	合計	構成割合	0歳
第1次報告	1	1	2	18.2%	11
第2次報告	6	2	8	34.8%	23
第3次報告	8	0	8	40.0%	20
第4次報告	8	1	9	45.0%	20
第5次報告	16	1	17	45.9%	37
第6次報告	22	4	26	66.7%	39
第7次報告	6	1	7	35.0%	20
第8次報告	9	3	12	52.2%	23
第9次報告	7	4	11	44.0%	25
第10次報告	11	0	11	50.0%	22
第11次報告	4	0	4	25.0%	16
総数	98	17	115	44.9%	256

表Ⅶ-1-2-2 0日・0か月児事例の日齢別死亡人数（第11次）

区分	人数
0日	4
1～9日	0
10日以上	0
計	4

(2) 0日・0か月児事例の概要

① 0日・0か月児事例の加害者

0日・0か月児事例における虐待を行った加害者について、平成25年度に把握した事例ではすべて実母であった。第1次報告から第11次報告までの累計でも、「実母」が加害者であった事例は105人であり、全体の91.3%を占めていた。一方、実父が単独の加害者となる事例は非常に少ない傾向があった。(表VII-1-3-1、表VII-1-3-2)

表VII-1-3-1 0日・0か月児事例の加害者(第11次)

区分	0日児	0か月児
実母	4	0
その他	0	0
計	4	0

表VII-1-3-2 0日・0か月児事例の加害者(第1次から第11次報告までの累計)

区分	0日児		0か月児		合計	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
実母	92	93.9%	13	76.5%	105	91.3%
実父	1	1.0%	2	11.8%	3	2.6%
実母・実父	4	4.1%	2	11.8%	6	5.2%
不明	1	1.0%	0	0.0%	1	0.9%
計	98	100.0%	17	100%	115	100.0%

② 死亡につながった虐待の類型(表VII-1-4)

表VII-1-4 0日・0か月児事例の虐待の類型

区分	第7次		第8次		第9次		第10次		第11次											
	0日児		0か月児		0日児		0か月児		0日児		0か月児									
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合								
身体的虐待	3	50.0%	1	100.0%	3	33.3%	4	100.0%	4	57.1%	3	75.0%	3	27.3%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%
ネグレクト	3	50.0%	0	0.0%	4	44.4%	0	0.0%	2	28.6%	1	25.0%	6	54.5%	0	0.0%	2	50.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	2	22.2%	0	0.0%	1	14.3%	0	0.0%	2	18.2%	0	0.0%	1	25.0%	0	0.0%
計	6	100.0%	1	100.0%	9	100.0%	4	100.0%	7	100.0%	4	100.0%	11	100.0%	0	0.0%	4	100.0%	0	0.0%

③ 遺棄の有無と遺棄された場所(表Ⅶ-1-5-1、表Ⅶ-1-5-2)

表Ⅶ-1-5-1 0日・0か月児事例における子どもが遺棄された場所(第11次)

区分	0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
自宅	2	50.0%	0	0.0%
自宅外	2	50.0%	0	0.0%
計	4	100.0%	0	0.0%

表Ⅶ-1-5-2 0日・0か月児事例における子どもの遺棄の有無と遺棄された場所

(第1次から第11次報告までの累計)

区分	0日児		0か月児		合計	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
遺棄なし	7	7.1%	9	52.9%	16	13.9%
遺棄あり	88	89.8%	8	47.1%	96	83.5%
自宅	39	39.8%	3	17.6%	42	36.5%
自宅外	49	50.0%	5	29.4%	54	47.0%
不明	3	3.1%	0	0.0%	3	2.6%
計	98	100%	17	100%	115	100%

④ 直接の死因(表Ⅶ-1-6)

第1次報告から第11次報告までの累計をみると、「窒息(絞殺以外)」による死亡事例が44人(有効割合54.3%)と最も多い傾向がみられた。

表Ⅶ-1-6 0日・0か月児事例における死因(第1次から第11次報告までの累計)

区分	0日児			0か月児			合計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
出生後、放置	15	15.3%	22.4%	1	5.9%	7.1%	16	13.9%	19.8%
窒息(絞殺以外)	37	37.8%	55.2%	7	41.2%	50.0%	44	38.3%	54.3%
絞殺	6	6.1%	9.0%	3	17.6%	21.4%	9	7.8%	11.1%
その他	9	9.2%	13.4%	3	17.6%	21.4%	12	10.4%	14.8%
不明	31	31.6%		3	17.6%		34	29.6%	
計	98	100.0%	100.0%	17	100.0%	100.0%	115	100.0%	100.0%

⑤ 事例が発覚した経緯（表Ⅶ－１－７）

表Ⅶ－１－７ ０日・０か月児事例が発覚した経緯（第11次）

区分	0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
近隣住民・知人が遺体を発見	1	25.0%	0	0.0%
家族その他の同居者が遺体を発見	1	25.0%	0	0.0%
その他	2	50.0%	0	0.0%
計	4	100.0%	0	0.0%

⑥ 出産した場所（表Ⅶ－１－８－１、表Ⅶ－１－８－２）

0日・0か月児事例における実母が本児を出産した場所について、第1次報告から第11次報告までの累計で見ると、0日・0か月児事例全体における「自宅」での出産が67人（有効割合65.7%）、特に、日齢0日児事例における「自宅」での出産が63人（同74.1%）と高い割合を占めていた。同じく、日齢0日児事例では、第1次報告から第11次報告までの累計をみても、医療機関での出産はなかった。

表Ⅶ－１－８－１ 0日・0か月児事例における出産場所（第1次から第11次報告までの累計）

区分	0日児			0か月児			合計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
自宅	63	64.3%	74.1%	4	23.5%	23.5%	67	58.3%	65.7%
自宅外	22	22.4%	25.9%	4	23.5%	23.5%	26	22.6%	25.5%
医療機関	0	0.0%	0.0%	9	52.9%	52.9%	9	7.8%	8.8%
不明	13	13.3%		0	0.0%	0.0%	13	11.3%	
計	98	100.0%	100.0%	17	100.0%	100.0%	115	100.0%	100.0%

表Ⅶ-1-8-2 0日・0か月児事例における自宅内での出産場所（第1次から第11次報告までの累計）

区分	0日児		0か月児		合計	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
トイレ	25	39.7%	0	0.0%	25	37.3%
風呂場	8	12.7%	0	0.0%	8	11.9%
その他	3	4.8%	1	25.0%	4	6.0%
不明	27	42.9%	3	75.0%	30	44.8%
計	63	100.0%	4	100.0%	67	100.0%

(3) 0日・0か月児事例における養育者の状況

① 実母の年齢（表Ⅶ-1-9-1、表Ⅶ-1-9-2）

0日・0か月児事例における実母の年齢について、平成25年度に把握した事例では、「20～24歳」が2人（50.0%）、「19歳以下」、「25～29歳」が各1人（25.0%）であった。

また、第1次報告から第11次報告までの累計でみると、0日・0か月児事例の実母の年齢は、日齢0日児事例では、「19歳以下」が26人（有効割合27.1%）で最も多く、月齢0か月児事例では、「35～39歳」が8人（同47.1%）と最も多かった。日齢0日児事例においては、実母の年齢が若いという特徴がみられている。

表Ⅶ-1-9-1 0日・0か月児事例における実母の年齢（第11次）

区分	0日児		0か月児	
	人数	構成割合	人数	構成割合
19歳以下	1	25.0%	0	0.0%
20～24歳	2	50.0%	0	0.0%
25～29歳	1	25.0%	0	0.0%
30～34歳	0	0.0%	0	0.0%
35～39歳	0	0.0%	0	0.0%
40歳以上	0	0.0%	0	0.0%
計	4	100.0%	0	0.0%

表Ⅶ-1-9-2 0日・0か月児事例の実母の年齢（第1次から第11次報告までの累計）

区分	0日児			0か月児			合計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	26	26.5%	27.1%	3	17.6%	17.6%	29	25.2%	25.7%
20-24歳	18	18.4%	18.8%	2	11.8%	11.8%	20	17.4%	17.7%
25-29歳	14	14.3%	14.6%	1	5.9%	5.9%	15	13.0%	13.3%
30-34歳	15	15.3%	15.6%	3	17.6%	17.6%	18	15.7%	15.9%
35-39歳	15	15.3%	15.6%	8	47.1%	47.1%	23	20.0%	20.4%
40歳以上	8	8.2%	8.3%	0	0.0%	0.0%	8	7.0%	7.1%
不明	2	2.0%		0	0.0%		2	1.7%	
計	98	100.0%	100.0%	17	100.0%	100.0%	115	100.0%	100.0%

② 実母の世帯の状況について

（表Ⅶ-1-10-1、表Ⅶ-1-10-2）

0日・0か月児事例における実母の世帯の状況について、平成25年度に把握した事例では、「不明」を除き3人（有効割合100%）すべてが「一人親（未婚）」であった。

また、実母の同居者の有無については、「同居あり」が2人（同66.7%）で、いずれも「母方祖父母」との同居であった。

表Ⅶ-1-10-1 0日・0か月児事例における実母の世帯の状況（第11次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
一人親（未婚）	3	75.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%
一人親（別居）	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
内縁関係	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	1	25.0%		0	0.0%	0.0%
計	4	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%

表VII-1-10-2 0日・0か月児事例における祖父母との同居状況（第11次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
同居なし	1	25.0%	33.3%	0	0.0%	0.0%
同居あり	2	50.0%	66.7%	0	0.0%	0.0%
母方祖父母	2	50.0%	66.7%	0	0.0%	0.0%
母方祖母	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
母方祖父	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	1	25.0%		0	0.0%	
計	4	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%

③ 実母の世帯の経済状況について

（表VII-1-11-1、表VII-1-11-2、表VII-1-11-3）

表VII-1-11-1 当該世帯の家計を支えている者（第11次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実母自身	1	25.0%	33.3%	0	0.0%	0.0%
母方祖母	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
母方祖父	2	50.0%	66.7%	0	0.0%	0.0%
不明	1	25.0%		0	0.0%	
計	4	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%

表Ⅶ-1-11-2 世帯収入の状況（第11次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
生活保護世帯	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
市町村民税非課税世帯	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
市町村民税課税世帯 （年収500万円未満）	1	25.0%	50.0%	0	0.0%	0.0%
年収500万円以上	1	25.0%	50.0%	0	0.0%	0.0%
不明	2	50.0%		0	0.0%	
計	4	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%

表Ⅶ-1-11-3 実母の就業状況（第11次）

区分	0日児			0か月児		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
無職	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
フルタイム	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
パート	2	50.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%
不明	2	50.0%		0	0.0%	
計	4	100.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%

④ 実母の妊娠期における問題について（表Ⅶ-1-12）

0日・0か月児事例における実母の妊娠期の問題については、「母子健康手帳の未発行」と「妊婦健康診査の未受診」がそれぞれ3人（75.0%）であった。

表Ⅶ-1-12 0日・0か月児事例における実母の妊娠期の問題（複数回答）（第11次）

区分	0日児(4人)		0か月児(0人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
望まない妊娠	2	50.0%	0	0.0%
若年(10代)妊娠	1	25.0%	0	0.0%
母子健康手帳の未発行	3	75.0%	0	0.0%
妊婦健康診査未受診	3	75.0%	0	0.0%

⑤ 実父の状況について（表Ⅶ－１－１３）

０日・０か月児事例における実父の状況について、平成 25 年度に把握した事例では、本児の実父は「いない」、「不明」が各 2 人であった。

また、第 1 次報告から第 11 次報告までの累計でも、妊娠後から出産までの間の実父の存在が確認できない事例が非常に多く、そのため、実父の年齢が「不明」である事例は 76 人（77.6%）と、日齢 0 日児事例全体の 8 割近くを占め、０日・０か月児事例においても合計数 81 人（70.4%）と全体の 7 割近くを占めるなど、実父に関する詳細な情報が得られる事例は少なかった。

表Ⅶ－１－１３ ０日・０か月児事例の実父の年齢（第 1 次から第 11 次報告までの累計）

区分	0 日児			0か月児			合計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
19歳以下	6	6.1%	27.3%	1	5.9%	8.3%	7	6.1%	20.6%
20-24歳	4	4.1%	18.2%	2	11.8%	16.7%	6	5.2%	17.6%
25-29歳	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
30-34歳	2	2.0%	9.1%	2	11.8%	16.7%	4	3.5%	11.8%
35-39歳	2	2.0%	9.1%	3	17.6%	25.0%	5	4.3%	14.7%
40歳以上	8	8.2%	36.4%	4	23.5%	33.3%	12	10.4%	35.3%
不明	76	77.6%		5	29.4%		81	70.4%	
計	98	100.0%	100.0%	17	100.0%	100.0%	115	100.0%	100.0%

(4) 0日・0か月児事例における行政機関の関与状況

0日・0か月児事例における行政機関の関与状況について、平成 25 年度に把握した事例では、すべての事例で児童相談所や市町村（虐待対応担当部署）の関与がみられなかった。

2 精神疾患のある養育者における事例について

(1) 精神疾患のある実母における事例の発生状況（表Ⅶ－２－１）

本報告書において、「精神疾患のある養育者」とは、医師による診断のある者とする（以下、「精神疾患あり」と表記）。一方、精神疾患に関する診断名がついていない養育者（その疑いや可能性のある場合を含む）については、「精神疾患のない養育者」（以下、「精神疾患なし」と表記）とし、それ以外の者は「不明」とする。

精神疾患のある実母における事例について、第5次報告から第11次報告までの累計では82例（88人）であった。そのうち、心中以外の虐待死事例は35例（36人）、心中による虐待死事例は47例（52人）であった。

一方、精神疾患のない養育者の中で実母が加害者であった（以下、「精神疾患のない実母」という。）事例数と死亡した子どもの人数は、第5次報告から第11次報告までの累計では147例（163人）であり、そのうち、心中以外の虐待死事例は104例（107人）、心中による虐待死事例は43例（56人）であった。

表Ⅶ－２－１ 虐待の加害者が実母であった事例とその子どもの死亡人数の推移

年次	心中以外の虐待死						心中による虐待死						計	
	精神疾患あり		精神疾患なし		不明		精神疾患あり		精神疾患なし		不明			
	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数	例数	人数
第5次報告	7	7	10	10	29	33	5	5	6	9	22	35	79	99
第6次報告	2	2	18	19	25	25	7	7	8	10	16	23	76	86
第7次報告	2	2	16	16	15	17	2	3	5	6	10	12	50	56
第8次報告	7	7	7	7	17	20	13	14	6	9	8	10	58	67
第9次報告	6	6	24	26	9	9	8	9	7	10	11	17	65	77
第10次報告	7	8	15	15	19	19	7	9	4	4	12	16	64	71
第11次報告	4	4	14	14	6	6	5	5	7	8	5	7	41	44
計	35	36	104	107	120	129	47	52	43	56	84	120	433	500

(2) 実母の状況（表Ⅶ－２－２）

① 診断名

精神疾患のある実母の診断名について、第5次報告から第11次報告の累計をみると、心中以外の虐待死事例では、「統合失調症」が16例、次いで「うつ病」が13例であり、一方、心中による虐待死事例では、「うつ病」が23例と最も多く、次いで「統合失調症」が7例であった。

なお、「診断名不明」となっているものは、精神科の受診歴はあるが、行政が正確な診断名を把握していないもの、あるいは検査中などの理由で確定診断がつけられる前に虐待死事例が発生したものなどが含まれている。

表Ⅶ－２－２ 精神疾患のある実母の診断名（複数回答）（第5次から第11次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死(35例)	心中による虐待死(47例)
統合失調症	16	7
妄想性障害	1	1
急性一過性精神病性障害	0	1
その他の精神病性障害	1	0
うつ病	13	23
双極性障害	0	2
気分変調症	0	2
不安障害	0	1
パニック障害	2	4
適応障害	2	2
PTSD	0	1
摂食障害	2	0
産褥精神病	1	1
パーソナリティ障害(境界性も含む)	1	1
広汎性発達障害	0	1
精神発達遅滞	1	0
神経症	1	0
心因反応	0	1
診断名不明	4	5

② 子どもの死亡時における実母の年齢

(表Ⅶ-2-3-1、表Ⅶ-2-3-2)

子どもの死亡時における実母の年齢について、第5次報告から第11次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「35歳～39歳」が11例(31.4%)と最も多く、次いで「30歳～34歳」が8例(22.9%)であった。また、心中による虐待死事例は、「40歳以上」が16例(34.0%)と最も多く、次いで「35歳～39歳」が15例(31.9%)であった。特に、30歳以上が全体の約8割近くを占めていた。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「20歳～24歳」が35例(33.7%)と最も多く、次いで「25歳～29歳」が23例(22.1%)、「35歳～39歳」が20例(19.2%)であった。心中による虐待死事例は、「30歳～34歳」が16例(37.2%)と最も多く、次いで「40歳以上」が13例(30.2%)であった。

なお、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例は、精神疾患のない実母における事例と比較して、年齢の高い傾向にある。

表Ⅶ-2-3-1 子どもの死亡時における実母の年齢 **(精神疾患あり)**

(第5次から第11次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死		計	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
19歳以下	1	2.9%	0	0.0%	1	1.2%
20歳～24歳	2	5.7%	2	4.3%	4	4.9%
25歳～29歳	6	17.1%	8	17.0%	14	17.1%
30歳～34歳	8	22.9%	6	12.8%	14	17.1%
35歳～39歳	11	31.4%	15	31.9%	26	31.7%
40歳以上	7	20.0%	16	34.0%	23	28.0%
計	35	100.0%	47	100.0%	82	100.0%

表Ⅶ-2-3-2 子どもの死亡時における実母の年齢（精神疾患なし）

（第5次から第11次報告までの累計）

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死		計	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
19歳以下	7	6.7%	1	2.3%	8	5.4%
20歳～24歳	35	33.7%	1	2.3%	36	24.5%
25歳～29歳	23	22.1%	2	4.7%	25	17.0%
30歳～34歳	12	11.5%	16	37.2%	28	19.0%
35歳～39歳	20	19.2%	10	23.3%	30	20.4%
40歳以上	7	6.7%	13	30.2%	20	13.6%
計	104	100.0%	43	100.0%	147	100.0%

③ 実母の妊娠期・周産期の問題（表Ⅶ-2-4-1、表Ⅶ-2-4-2）

実母の妊娠期・周産期の問題について、第5次報告から第11次報告までの累計でみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「望まない妊娠／計画していない妊娠」が10人（27.8%）と最も多く、次いで「妊婦健診未受診」が8人（22.2%）であった。また、心中による虐待死事例は、「マタニティブルーズ」が5人（9.6%）で最も多かった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「望まない妊娠／計画していない妊娠」が43人（40.2%）、次いで「妊婦健診未受診」が38人（35.5%）であった。

なお、精神疾患のある実母における事例は、精神疾患のない実母における事例と比較して、「マタニティブルーズ」の割合が高い傾向にある。

表Ⅶ-2-4-1 妊娠期・周産期の問題 (精神疾患あり) (複数回答)

(第5次から第11次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死事例(36人)		心中による虐待死事例(52人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
切迫流産・切迫早産	1	2.8%	2	3.8%
妊娠高血圧症候群	2	5.6%	2	3.8%
喫煙の常習	5	13.9%	1	1.9%
アルコールの常習	1	2.8%	1	1.9%
マタニティブルーズ	4	11.1%	5	9.6%
望まない妊娠／計画していない妊娠	10	27.8%	2	3.8%
若年(10代)妊娠	3	8.3%	2	3.8%
母子健康手帳の未発行	2	5.6%	1	1.9%
妊婦健診未受診	8	22.2%	1	1.9%
性感染症・肝炎ウイルスの感染	0	0.0%	0	0.0%
胎児虐待	2	5.6%	0	0.0%
その他	1	2.8%	1	1.9%

表Ⅶ-2-4-2 妊娠期・周産期の問題 (精神疾患なし) (複数回答)

(第5次から第11次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死事例(107人)		心中による虐待死事例(56人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
切迫流産・切迫早産	9	8.4%	3	5.4%
妊娠高血圧症候群	2	1.9%	1	1.8%
喫煙の常習	16	15.0%	2	3.6%
アルコールの常習	7	6.5%	0	0.0%
マタニティブルーズ	1	0.9%	2	3.6%
望まない妊娠／計画していない妊娠	43	40.2%	2	3.6%
若年(10代)妊娠	27	25.2%	0	0.0%
母子健康手帳の未発行	27	25.2%	1	1.8%
妊婦健診未受診	38	35.5%	3	5.4%
性感染症・肝炎ウイルスの感染	0	0.0%	0	0.0%
胎児虐待	11	10.3%	0	0.0%
その他	2	1.9%	0	0.0%

(3) 精神疾患のある実母における事例の概要

① 死亡につながった虐待の類型(表Ⅶ-2-5-1、表Ⅶ-2-5-2)

死亡につながった虐待の類型について、第5次報告から第11次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「身体的虐待」が26人(有効割合78.8%)、「ネグレクト」が7人(同21.2%)であり、心中による虐待死事例では、「身体的虐待」が51人(同100.0%)であった。

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「身体的虐待」が62人(同60.8%)、次いで「ネグレクト」が40人(同39.2%)であり、心中による虐待死事例は、「身体的虐待」が56人(同100.0%)であった。

なお、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例は、精神疾患のない実母における事例と比較して、直接の死因として身体的虐待が全体に占める割合が高い傾向にある。

表Ⅶ-2-5-1 実母による虐待の類型 **(精神疾患あり)** (第5次から第11次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死			計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	26	72.2%	78.8%	51	98.1%	100.0%	77	87.5%	91.7%
ネグレクト	7	19.4%	21.2%	0	0.0%	0.0%	7	8.0%	8.3%
心理的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
性的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	3	8.3%		1	1.9%		4	4.5%	
計	36	100.0%	100.0%	52	100.0%	100.0%	88	100.0%	100.0%

表Ⅶ-2-5-2 実母による虐待の類型 **(精神疾患なし)** (第5次から第11次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死			計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	62	57.9%	60.8%	56	100.0%	100.0%	118	72.4%	74.7%
ネグレクト	40	37.4%	39.2%	0	0.0%	0.0%	40	24.5%	25.3%
心理的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
性的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	5	4.7%		0	0.0%		5	3.1%	
計	107	100.0%	100.0%	56	100.0%	100.0%	163	100.0%	100.0%

② 直接の死因（表Ⅶ－２－６－１、表Ⅶ－２－６－２）

直接の死因について、第５次報告から第１１次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、死因が判明したもののうち、「頸部絞扼による窒息」が９人（有効割合 28.1％）で最も多く、次いで「頭部外傷」が４人（同 12.5％）であった。また、心中による虐待死事例では、「頸部絞扼による窒息」が１９人（同 36.5％）で最も多く、次いで「中毒（火災によるものを除く）」が１１人（同 21.2％）であった。

一方、精神疾患のない実母による心中以外の虐待死事例では、「頭部外傷」が２１人（同 23.1％）で最も多く、次いで「頸部絞扼以外による窒息」が１５人（同 16.5％）であった。

また、心中による虐待死事例では、「頸部絞扼による窒息」が１５人（同 26.8％）で最も多く、次いで、「中毒（火災によるものを除く）」が１２人（同 21.4％）であった。

年齢別の直接死因についてみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例の中では、９人と最も多い「頸部絞扼による窒息」において、「０歳」が３人、「１歳」が２人であった。心中による虐待死事例においても、「頸部絞扼による窒息」が１９人と最も多く、「２歳」、「４歳」、「５歳」、「６歳」、「９歳」、「１２歳」がそれぞれ２人であった。（表Ⅶ－２－６－３、表Ⅶ－２－６－４）

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、２１人と最も多い「頭部外傷」において、「０歳」が９人、「１歳」が７人であった。心中による虐待死事例は、１５人と最も多い「頸部絞扼による窒息」において、「８歳」が３人、「０歳」、「５歳」、「１１歳」がそれぞれ２人であった。（表Ⅶ－２－６－５、表Ⅶ－２－６－６）

表Ⅶ-2-6-1 直接の死因 (精神疾患あり)

(第5次から第11次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死			計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	4	11.1%	12.5%	0	0.0%	0.0%	4	4.5%	4.8%
胸部外傷	3	8.3%	9.4%	1	1.9%	1.9%	4	4.5%	4.8%
腹部外傷	1	2.8%	3.1%	3	5.8%	5.8%	4	4.5%	4.8%
外傷性ショック	0	0.0%	0.0%	2	3.8%	3.8%	2	2.3%	2.4%
頸部絞扼による窒息	9	25.0%	28.1%	19	36.5%	36.5%	28	31.8%	33.3%
頸部絞扼以外による窒息	3	8.3%	9.4%	2	3.8%	3.8%	5	5.7%	6.0%
溺水	3	8.3%	9.4%	4	7.7%	7.7%	7	8.0%	8.3%
熱傷	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
車中放置による熱中症・脱水	2	5.6%	6.3%	0	0.0%	0.0%	2	2.3%	2.4%
中毒(火災によるものを除く)	0	0.0%	0.0%	11	21.2%	21.2%	11	12.5%	13.1%
出血性ショック	1	2.8%	3.1%	4	7.7%	7.7%	5	5.7%	6.0%
低栄養による衰弱	1	2.8%	3.1%	0	0.0%	0.0%	1	1.1%	1.2%
脱水	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
凍死	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	1	2.8%	3.1%	3	5.8%	5.8%	4	4.5%	4.8%
病死	1	2.8%	3.1%	0	0.0%	0.0%	1	1.1%	1.2%
その他	3	8.3%	9.4%	3	5.8%	5.8%	6	6.8%	7.1%
不明	4	11.1%	100.0%	0	0.0%	0.0%	4	4.5%	100.0%
計	36	100.0%	100.0%	52	100.0%	100.0%	88	100.0%	100.0%

表Ⅶ-2-6-2 直接の死因 (精神疾患なし)

(第5次から第11次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死			計		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
頭部外傷	21	19.6%	23.1%	1	1.8%	1.8%	22	13.5%	15.0%
胸部外傷	0	0.0%	0.0%	1	1.8%	1.8%	1	0.6%	0.7%
腹部外傷	3	2.8%	3.3%	1	1.8%	1.8%	4	2.5%	2.7%
外傷性ショック	1	0.9%	1.1%	2	3.6%	3.6%	3	1.8%	2.0%
頸部絞扼による窒息	9	8.4%	9.9%	15	26.8%	26.8%	24	14.7%	16.3%
頸部絞扼以外による窒息	15	14.0%	16.5%	0	0.0%	0.0%	15	9.2%	10.2%
溺水	10	9.3%	11.0%	9	16.1%	16.1%	19	11.7%	12.9%
熱傷	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
車中放置による熱中症・脱水	3	2.8%	3.3%	0	0.0%	0.0%	3	1.8%	2.0%
中毒(火災によるものを除く)	0	0.0%	0.0%	12	21.4%	21.4%	12	7.4%	8.2%
出血性ショック	1	0.9%	1.1%	5	8.9%	8.9%	6	3.7%	4.1%
低栄養による衰弱	5	4.7%	5.5%	0	0.0%	0.0%	5	3.1%	3.4%
脱水	2	1.9%	2.2%	0	0.0%	0.0%	2	1.2%	1.4%
凍死	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	12	11.2%	13.2%	8	14.3%	14.3%	20	12.3%	13.6%
病死	3	2.8%	3.3%	0	0.0%	0.0%	3	1.8%	2.0%
その他	6	5.6%	6.6%	2	3.6%	3.6%	8	4.9%	5.4%
不明	16	15.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%	16	9.8%	100.0%
計	107	100.0%	100.0%	56	100.0%	100.0%	163	100.0%	100.0%

表Ⅶ-2-6-3 年齢別の直接死因(精神疾患あり)(第5次から第11次報告までの累計)(心中以外)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	計
頭部外傷	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
胸部外傷	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
腹部外傷	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外傷性ショック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
頸部絞扼による窒息	3	2	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	9
頸部絞扼以外による窒息	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
溺水	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車中放置による熱中症・脱水	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
中毒(火災によるものを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出血性ショック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
低栄養による衰弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
脱水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
凍死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
病死	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
不明	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4
計	15	5	3	2	1	0	1	1	0	2	0	1	2	0	1	0	0	1	1	36

表Ⅶ-2-6-4 年齢別の直接死因(精神疾患あり)(第5次から第11次報告までの累計)(心中)

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	計
頭部外傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
胸部外傷	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
腹部外傷	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
外傷性ショック	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
頸部絞扼による窒息	1	1	2	0	2	2	2	0	1	2	1	1	2	1	1	0	0	0	19
頸部絞扼以外による窒息	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
溺水	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車中放置による熱中症・脱水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中毒(火災によるものを除く)	1	1	0	1	0	0	3	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	11
出血性ショック	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	4
低栄養による衰弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脱水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
凍死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
病死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	3
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	5	3	3	5	2	6	6	2	3	5	2	3	4	1	1	1	0	0	52

表Ⅶ-2-6-5 年齢別の直接死因（精神疾患なし）（第5次から第11次報告までの累計）（心中以外）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	計
頭部外傷	9	7	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	21
胸部外傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腹部外傷	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
外傷性ショック	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
頸部絞扼による窒息	3	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	9
頸部絞扼以外による窒息	10	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
溺水	8	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車中放置による熱中症・脱水	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
中毒(火災によるものを除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出血性ショック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
低栄養による衰弱	0	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
脱水	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
凍死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0	0	3	4	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
病死	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	2	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
不明	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	16
計	49	20	8	9	8	5	0	2	0	0	1	2	0	0	1	0	0	0	2	107

表Ⅶ-2-6-6 年齢別の直接死因（精神疾患なし）（第5次から第11次報告までの累計）（心中）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	不明	計
頭部外傷	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
胸部外傷	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
腹部外傷	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外傷性ショック	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
頸部絞扼による窒息	2	1	0	1	1	2	0	0	3	0	1	2	1	0	1	0	0	0	0	15
頸部絞扼以外による窒息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
溺水	3	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9
熱傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
車中放置による熱中症・脱水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中毒(火災によるものを除く)	1	1	1	0	2	2	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	12
出血性ショック	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	5
低栄養による衰弱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
脱水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
凍死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	8
病死	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	11	4	2	5	5	5	2	5	6	1	4	2	1	1	1	0	0	1	0	56

③ 死亡時の子どもの年齢

死亡時の子どもの年齢について、第5次報告から第11次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「0歳」が15人(41.7%)と最も多く、次いで「1歳」が5人(13.9%)、「2歳」が3人(8.3%)であった。また、心中による虐待死事例では、「0歳」が際立って多いという特徴は認められず、概ねどの年齢でも発生している。(表VII-2-7-1)

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では、「0歳」が49人(有効割合46.7%)と最も多く、次いで「1歳」が20人(同19.0%)であり、心中による虐待死事例では、「0歳」が11人(同19.6%)と最も多く、次いで「8歳」が6人(同10.7%)であった。(表VII-2-7-2)

表VII-2-7-1 子どもの死亡時の年齢(精神疾患あり) (第5次から第11次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死		総数	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
0歳	15	41.7%	5	9.6%	20	22.7%
1歳	5	13.9%	3	5.8%	8	9.1%
2歳	3	8.3%	3	5.8%	6	6.8%
3歳	2	5.6%	5	9.6%	7	8.0%
4歳	1	2.8%	2	3.8%	3	3.4%
5歳	0	0.0%	6	11.5%	6	6.8%
6歳	1	2.8%	6	11.5%	7	8.0%
7歳	1	2.8%	2	3.8%	3	3.4%
8歳	0	0.0%	3	5.8%	3	3.4%
9歳	2	5.6%	5	9.6%	7	8.0%
10歳	0	0.0%	2	3.8%	2	2.3%
11歳	1	2.8%	3	5.8%	4	4.5%
12歳	2	5.6%	4	7.7%	6	6.8%
13歳	0	0.0%	1	1.9%	1	1.1%
14歳	1	2.8%	1	1.9%	2	2.3%
15歳	0	0.0%	1	1.9%	1	1.1%
16歳	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
17歳	1	2.8%	0	0.0%	1	1.1%
不明	1	2.8%	0	0.0%	1	1.1%
計	36	100.0%	52	100.0%	88	100.0%

表Ⅶ-2-7-2 子どもの死亡時の年齢 (精神疾患なし) (第5次から第11次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死			総数	
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合
0歳	49	45.8%	46.7%	11	19.6%	19.6%	60	36.8%
1歳	20	18.7%	19.0%	4	7.1%	7.1%	24	14.7%
2歳	8	7.5%	7.6%	2	3.6%	3.6%	10	6.1%
3歳	9	8.4%	8.6%	5	8.9%	8.9%	14	8.6%
4歳	8	7.5%	7.6%	5	8.9%	8.9%	13	8.0%
5歳	5	4.7%	4.8%	5	8.9%	8.9%	10	6.1%
6歳	0	0.0%	0.0%	2	3.6%	3.6%	2	1.2%
7歳	2	1.9%	1.9%	5	8.9%	8.9%	7	4.3%
8歳	0	0.0%	0.0%	6	10.7%	10.7%	6	3.7%
9歳	0	0.0%	0.0%	1	1.8%	1.8%	1	0.6%
10歳	1	0.9%	1.0%	4	7.1%	7.1%	5	3.1%
11歳	2	1.9%	1.9%	2	3.6%	3.6%	4	2.5%
12歳	0	0.0%	0.0%	1	1.8%	1.8%	1	0.6%
13歳	0	0.0%	0.0%	1	1.8%	1.8%	1	0.6%
14歳	1	0.9%	1.0%	1	1.8%	1.8%	2	1.2%
15歳	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%
16歳	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%
17歳	0	0.0%	0.0%	1	1.8%	1.8%	1	0.6%
不明	2	1.9%		0	0.0%		2	1.2%
計	107	100.0%	100.0%	56	100.0%	100.0%	163	100.0%

④ 虐待を受けた子どもの性別 (表Ⅶ-2-8)

表Ⅶ-2-8 子どもの性別 (精神疾患あり) (第5次から第11次報告までの累計)

区分	人数	構成割合
男	46	52.3%
女	42	47.7%
計	88	100.0%

⑤ 子どもの情緒・行動上の問題等

(表Ⅶ-2-9-1、表Ⅶ-2-9-2)

表Ⅶ-2-9-1 子どもの情緒・行動上の問題等 (精神疾患あり) (複数回答)

(第5次から第11次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		18	50.0%	62.1%	22	42.3%	64.7%
あり		11	30.6%	37.9%	12	23.1%	35.3%
内訳 (複数回答)	ミルクの飲みムラ	1			1		
	激しい泣き	5			2		
	夜泣き	8			2		
	食事の拒否	0			0		
	夜尿	1			1		
	多動	2			4		
	衝動性	1			5		
	かんしゃく	3			4		
	自傷行為	1			1		
	性器いじり	1			1		
	指示に従わない	2			3		
	なつかない	0			0		
	無表情、表情が乏しい	1			0		
	固まってしまう	1			0		
	盗癖	0			0		
	虚言癖	1			1		
不登校	1			0			
その他	3			4			
不明		7	19.4%		18	34.6%	

表Ⅶ-2-9-2 子どもの情緒・行動上の問題等 (精神疾患なし) (複数回答)

(第5次から第11次報告までの累計)

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		53	49.5%	69.7%	35	62.5%	81.4%
あり		23	21.5%	30.3%	8	14.3%	18.6%
内訳 (複数回答)	ミルクの飲みムラ	5			2		
	激しい泣き	8			2		
	夜泣き	6			2		
	食事の拒否	5			0		
	夜尿	7			2		
	多動	5			4		
	衝動性	2			2		
	かんしゃく	2			1		
	自傷行為	0			0		
	性器いじり	0			0		
	指示に従わない	5			3		
	なつかない	6			0		
	無表情、表情が乏しい	5			0		
	固まってしまう	1			0		
	盗癖	2			0		
	虚言癖	0			1		
不登校	1			0			
その他	3			2			
不明		31	29.0%		13	23.2%	

⑥ 支援者の有無等（表Ⅶ-2-10-1、表Ⅶ-2-10-2）

表Ⅶ-2-10-1 支援者の有無等（精神疾患あり）（複数回答）（第5次から第11次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		3	8.6%	9.1%	1	2.1%	3.2%
あり		30	85.7%	90.9%	30	63.8%	96.8%
内訳 （複数回答）	配偶者	16			9		
	親	18			16		
	配偶者の親	7			4		
	虐待者のきょうだい	7			10		
	配偶者のきょうだい	3			0		
	近所の人	2			2		
	職場の友人・知人	0			1		
	保育所などの職員	4			7		
	ベビーシッター	1			0		
	行政の相談担当課	18			8		
	職場以外の友人	0			2		
	子育てサークル	0			0		
	親類	2			4		
	その他	2			3		
不明		2	5.7%		16	34.0%	

表Ⅶ-2-10-2 支援者の有無等（精神疾患なし）（複数回答）（第5次から第11次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		28	26.9%	28.9%	2	4.5%	6.3%
あり		69	66.3%	71.1%	30	68.2%	93.8%
内訳 （複数回答）	配偶者	41			13		
	親	45			16		
	配偶者の親	19			7		
	虐待者のきょうだい	13			4		
	配偶者のきょうだい	4			1		
	近所の人	4			1		
	職場の友人・知人	2			3		
	保育所などの職員	18			8		
	ベビーシッター	0			0		
	行政の相談担当課	27			7		
	職場以外の友人	6			0		
	子育てサークル	0			0		
	親類	6			3		
	その他	5			2		
不明		7	6.7%		12	27.3%	

(4) 関係機関の関与状況

関係機関の関与状況について、第5次報告から第11次報告までの累計でみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では、「児童相談所」の関与が18例（51.4%）、「市町村（虐待対応担当部署）」も18例（51.4%）であり、その他、「市町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が27例（77.1%）であった。

心中による虐待死事例は、「児童相談所」の関与が11例（23.4%）、「市町村（虐待対応担当部署）」が13例（27.7%）であり、その他、「養育機関・教育機関」が28例（59.6%）、「医療機関」が27例（57.4%）であった。（表Ⅶ-2-11-1）

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例は、「児童相談所」、「市町村（虐待対応担当部署）」の関与が、各27例（26.0%）であり、その他、「市町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が56例（53.8%）、「医療機関」が45例（43.3%）であった。心中による虐待死事例は、「児童相談所」の関与が6例（14.0%）、「市町村（虐待対応担当部署）」が5例（11.6%）であり、その他、「市町村の母子保健担当部署（保健センター等）」が26例（60.5%）、「養育機関・教育機関」、「医療機関」が各18例（41.9%）であった。（表Ⅶ-2-11-2）

また、市町村関与の状況と虐待の認識について、第5次報告から第11次報告までの累計をみると、精神疾患のある実母における心中以外の虐待死事例では「市町村の関与あり」18例（51.4%）のうち「虐待の認識があり対応していた」が7例、「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」が6例、「虐待の認識はなかった」が5例であった。心中による虐待死事例では、「市町村の関与あり」13例（27.7%）のうち「虐待の認識はなかった」が7例であった。（表Ⅶ-2-12-1）

一方、精神疾患のない実母における心中以外の虐待死事例では「市町村の関与あり」27例（26.0%）のうち「虐待の認識があり対応していた」が14例であった。心中による虐待死事例では、「市町村の関与あり」5例（11.6%）のうち「虐待の認識はなかった」が4例であった。（表Ⅶ-2-12-2）

表Ⅶ-2-11-1 関係機関の関与 (精神疾患あり)

(第5次から第11次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死		計		
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	
児童相談所	18	51.4%	11	23.4%	29	35.4%	
市町村(虐待対応担当部署)	18	51.4%	13	27.7%	31	37.8%	
その他の機関	31	88.6%	43	91.5%	74	90.2%	
内訳 (複数回答)	福祉事務所	11	31.4%	18	38.3%	29	35.4%
	家庭児童相談室	6	17.1%	10	21.3%	16	19.5%
	児童委員	6	17.1%	1	2.1%	7	8.5%
	保健所	13	37.1%	10	21.3%	23	28.0%
	市町村の母子保健担当部署 (保健センター等)	27	77.1%	21	44.7%	48	58.5%
	養育機関・教育機関	13	37.1%	28	59.6%	41	50.0%
	医療機関	25	71.4%	27	57.4%	52	63.4%
	助産師 (医療機関に勤務する者を除く)	3	8.6%	4	8.5%	7	8.5%
	警察	9	25.7%	2	4.3%	11	13.4%
	婦人相談所	0	0.0%	1	2.1%	1	1.2%

表Ⅶ-2-11-2 関係機関の関与 (精神疾患なし)

(第5次から第11次報告までの累計)

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死		計		
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	
児童相談所	27	26.0%	6	14.0%	33	22.4%	
市町村(虐待対応担当部署)	27	26.0%	5	11.6%	32	21.8%	
その他の機関	85	81.7%	38	88.4%	123	83.7%	
内訳 (複数回答)	福祉事務所	21	20.2%	11	25.6%	32	21.8%
	家庭児童相談室	14	13.5%	5	11.6%	19	12.9%
	児童委員	10	9.6%	3	7.0%	13	8.8%
	保健所	14	13.5%	5	11.6%	19	12.9%
	市町村の母子保健担当部署 (保健センター等)	56	53.8%	26	60.5%	82	55.8%
	養育機関・教育機関	34	32.7%	18	41.9%	52	35.4%
	医療機関	45	43.3%	18	41.9%	63	42.9%
	助産師 (医療機関に勤務する者を除く)	5	4.8%	4	9.3%	9	6.1%
	警察	15	14.4%	2	4.7%	17	11.6%
	婦人相談所	2	1.9%	0	0.0%	2	1.4%

表Ⅶ－２－１２－１ 市町村関与の状況と虐待の認識（精神疾患あり）

（第5次から第11次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死		計	
		例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
市町村の関与なし		17	48.6%	34	72.3%	51	62.2%
市町村の関与あり		18	51.4%	13	27.7%	31	37.8%
内訳	虐待の認識があり対応していた	7	/	3	/	10	/
	虐待の可能性は認識していたが、 確定していなかった	6		3		9	
	虐待の認識はなかった	5		7		12	
計		35	100.0%	47	100.0%	82	100.0%

表Ⅶ－２－１２－２ 市町村関与の状況と虐待の認識（精神疾患なし）

（第5次から第11次報告までの累計）

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死		計	
		例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
市町村の関与なし		77	74.0%	38	88.4%	115	78.2%
市町村の関与あり		27	26.0%	5	11.6%	32	21.8%
内訳	虐待の認識があり対応していた	14	/	0	/	14	/
	虐待の可能性は認識していたが、 確定していなかった	7		1		8	
	虐待の認識はなかった	6		4		10	
計		104	100.0%	43	100.0%	147	100.0%